

新100年のキックオフ

☆きらりと光るまちづくり予算☆

東郷町の平成27年度予算の概要をお知らせします

予算総額 195 億 8,710 万 8 千円 (6.4%増)

一般会計	117億951万3千円 (5.3%増)
特別会計	78億7,759万5千円 (8.1%増)
国民健康保険特別会計	43億4,609万3千円
国民健康保険東郷診療所特別会計	1億4,754万2千円
後期高齢者医療特別会計	4億950万7千円
介護保険特別会計	20億5,611万6千円
下水道事業特別会計	9億1,300万円
旭ヶ丘団地汚水処理事業特別会計	533万7千円

●予算の規模

平成26年度と比べて、一般会計は5億9,225万8千円の増額、特別会計は5億8,712万6千円の増額となりました。

●予算編成方針

本格的に区画整理を進めるセントラル開発などの「にぎわい創出」、継続して子育て支援No.1のまちを目指す「子育て支援」、「防災と安全」の3分野について重点配分し、東郷の新しい100年の歴史の扉を開く積極的な予算としました。

●財政事情

消費税率改正の影響の平年度化や、国からの補助金の増額などにより、歳入予算全体としては、増収(前年度比)を見込んでいます。

個人町民税：個人所得の増加により前年度(約27億3千万円)に比べて約2千万円(約1%)の増収見込み
法人町民税：法人税割額の税率改正により前年度(約2億9千万円)に比べて約1千万円(約3%)の減収見込み
固定資産税：評価替えなどにより前年度(約23億8千万円)に比べて約4千万円(約2%)

●減収見込み

町税総額：前年度(約61億円)に比べて約4千万円(約1%)の減収見込み

●不足財源調整

町財政は依然として財源不足であるため、次のように不足財源を調整しています。
歳出：経常的な事務事業の見直しなどによる適正化
歳入：受益者負担の適正化を図って使用料などの見直しを進め、実質赤字公債である臨時財政対策債を4億6千万円予算計上

これらの対策をとっても、

なお不足する分は、町の預金である財政調整基金から6億円を取り崩してまかなっています。

このため、財政調整基金残高は平成27年度当初予算繰入額を差し引くと約5億3千万円の見込みとなり、前年度の同時期と比較すると、約1億円減となっています。
 基金を取り崩すことで、実質赤字公債の発行を抑制(前年度比9千万円減)した予算編成としています。